



召天者合同記念会を行いました

2024年10月5日(土)、昨年度当院でご逝去された患者様のご家族55名、スタッフ29名、合計84名の参列となりました。久しぶりにお会いして懐かしく思い出を語る良いひと時となりました。

元医療部長である救世軍士官 吉田真中将からお話(メッセージ)がありました。



「涙を流すイエス」

元 救世軍医療部長 吉田 真

「死はいつも他人」という言葉があります。多くの人にとって、外国で1万人がなくなるよりも、自分の身内が一人亡くなるほうが、ずっと心に痛みを感じます。

聖書の物語です。イエスの友人が亡くなりました。三人兄弟の末っ子でした。イエスがその家に着いた時には、すでに彼は亡くなっていました。そこでイエスは涙を流します。その涙は、その弟の死を悲しむ姉たちに、自分と深い関係がある者の死として受け取っているということの印なのです。「わたしにとって、あなたは大切なのです」と言っているのです。

「わたし(神)の目にあなたは価高く 貴く わたしはあなたを愛し あなたの身代わりとして人を与え 国々をあなたの魂の代わりとする。」(イザヤ書43章4節)と聖書にあります。注目すべき言葉は「わたしの目に…」です。

何年か前のことですが、自殺防止のキャンペーンのための、「『いのちは大切だ』と言われるよりも、『あなたは大切だ』と言われたら生きることができる」というコピーを目にしました。「わたしを、第三者としてではなく、当事者として見てほしい」ということでしょう。

イエスが流された涙は、イエスが姉たちに、「あなたが大切だ、わたしにとってあなたは価値のある存在だ」と言っているのです。同様に、私たちがどのような状況にあったとしても、「あなたが大切だ」と言ってくださる方がいることを知るの、私たちにとっての大きな慰めでしょう。





病棟の装飾も華やかなクリスマス仕様に♪
職員が心を込めて製作しています

週に1度、音楽療法士が奏でるギター伴奏とともに、すてきな歌声を披露して下さる患者様。手でリズムをとりながら、十八番の「月がとっても青いから」をはじめ、「丘を越えて」「川の流れのように」などの昭和歌謡や浪花節を次々と歌い上げるお姿に職員も思わずほっこりさせられます。その歌が流行っていた当時の情景やご自身の出来事、好きな歌手の思い出などを懐かしそうにお話しして下さいました。

医療療養病棟



バス通りから見えるシャロンのデイルームの窓に装飾したひまわり。入居者様に長く楽しんでいただきました。



朝昼晩と入居者様が集うデイルーム。今度は、華やかな色とりどりのポインセチアのツリーを飾りました。ツリーを見ながら季節を感じて、食事やリハビリ、レクリエーションをもっと楽しんでいただけたらいいなと思います。



介護医療院シャロン





ホスピス緩和ケア病棟では、東京都立府中看護専門学校の臨床実習をお受けしています。実習の最後に看護学生さんから話をうかがうと、私たちの実際のケアの場面から、さまざまな気づき、学びを吸収されていることが分かります。

患者さんたちも新しい風が吹き込んだような、爽やかな表情をされます。

次の時代の看護の花を咲かせてもらうためにお手伝いすることは、私たちにとって種をまき未来を待つような喜びなのです。

ホスピス緩和ケア病棟



もしバナ体験会&ホスピス緩和ケア病棟説明・見学会



10月19日(土)、清瀬もしバナ会を始めて1年間経ったことを記念して、もしバナ体験会に併せて、当院のホスピス緩和ケア病棟説明・見学会を開催しました。10名の方にご参加頂き、笑いあり涙あり、和やかな雰囲気での会でした。

病棟の説明後に看護師とソーシャルワーカーで病棟へご案内し、色々なご質問にもお答えし、当院のことをより知って頂ける場になったと思います。地域住民の方だけでなく、医療・福祉専門職の方々のご参加も多くなりました。

今後もこの活動が地域の方と繋がり、ACPIについて考えるきっかけとなることを願っています。



清瀬市立第二中学校の学生さんが来院!

8月に近隣の清瀬市立第二中学校生徒会の生徒2名と先生が来院され、「病院のみなさんへ」と心のこもった素敵な暑中見舞いを届けてくださいました。院長が面会し、短い時間でしたが交流を持つことができました。

今年は猛暑日が続いていた為、中学生のみなさんからの温かなお気持ちに、職員一同励ましと元気をいただきました。ありがとうございました。



シリーズ連載

チャプレンの窓



90歳近いYさんは、「未来を考えたら怖い。だから、未来のことは考えず、ただただ、今踏み込むこの一歩のことしか考えていないのよ」と語られました。その時、チャプレン自身の3000m級登山の経験を思いました。ゴツン、ゴツンと、大地を一步一步重く確かに踏みこむ登山靴の音と、次に踏み込む岩や斜面の形状を一步一步凝視した視界、先を見ては、その遠さに途方に暮れる経験です。

今、正に踏み込む一歩のことを考え続けた先に、ゴールがありました。過去や未来ではなく、永遠の「今」を一生懸命生きようと、ハッとさせられました。感謝。



ホスピス・療養病棟の入院問合わせ

当院は無料低額診療事業を行っております。



TEL : 042-491-1412 (月~土 9:00 ~ 17:00)

介護医療院シャロンへのお問合わせ

TEL : 042-497-8185



受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 (祝日を除く月曜日~金曜日)

<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp/sharon/>

詳しくは、当院のWEBサイトをご覧ください。ご不明な点はお電話にてご相談ください。



救世軍清瀬病院

The Salvation Army Kiyose Hospital

TEL : 042-491-1411

〒204-0023 清瀬市竹丘1-17-9

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。詳しくはホームページをご覧ください。

